



CR経営を支える基本的な取組み

CR経営を進めていくためには信頼できる企業であり続けるための強固な基盤づくりが不可欠です。アクサ ジャパンでは、コーポレート・ガバナンス体制の充実・強化に積極的に取り組み、企業グループの信頼性の向上に努めています。

内部統制とコーポレート・ガバナンスの充実

アクサ ジャパンは、コーポレート・ガバナンスの充実・強化を図り、業務執行の公正性の確保に努めています。またグループ経営の健全性や透明性を確保するため、内部統制システムを整備し、その有効性の確保に努めています。

内部統制システム向上への取組み

企業価値の継続的な向上のために、コーポレート・ガバナンスの充実・強化を経営上もっとも重要な課題のひとつと位置づけ、経営における透明性の確保と、経営目標の達成に向けた経営監視機能の強化に努めています。2006年に「内部統制システム構築の基本方針」を策定、以来継続的に業務プロセスの改善やコンプライアンス体制の整備、リスクマネジメントの徹底など、内部統制機能の充実・強化を行なってきました。またこれらの内部監査機能の強化とともに、社内の他の部門に対する牽制機能を高めることを目的として、2007年に内部監査部門をコンプライアンス部門から分離し、監査専任の役員を統括責任者とする事で業務的にも独立した組織としました。アクサ生命では今後も内部管理態勢とコーポレート・ガバナンスの充実・強化に継続的に取り組み、さらなる経営の健全性の確保に努めていきます。

委員会設置会社への移行

監査機能のAXAグループスタンダードへの準拠と迅速な経営判断の推進を目的として、2010年6月30日より委員会設置会社に移行しました。これによって、経営の監督と執行の分離がより明確となり、業務執行の権限が代表執行役・執行役に大幅に委譲され、より迅速な経営の意思決定と業務執行が行なえるようになりました。また指名委員会、監査委員会、報酬委員会の3つの法定の委員会を設置するとともに、社外取締役として、金融機関の監督の経験者、海外でAXAグループの生命保険業に携わっている役員を選任し、監視機能の強化を図りました。

